

“ふるさとちば”のための政策推進を



高橋ゆうこ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

高橋議 高橋議

園芸産地の強化要望

生産費用上昇、農家に支援を

女性の視点で県民の暮らしの充実に力を注いでいる高橋祐子県議(富里市選出、2期)は、2月定例県議会で登壇し、農業振興や女性の健康、自転車の安全対策などについて熊谷知事ら県執行部に質問しました。子宮頸がんを毎年、多くの女性が亡くなっていますが、高橋県議は、感染予防のためのワクチンは、小学6年生での接種が望ましいとして、全市町村で小6の4月における個別通知実現を要望しました。高橋県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

2月県議会一般質問



登壇し、県の施策を質問する高橋祐子県議

高橋議員 令和6年の本県の農業産出額は4533億円であり、全国第4位になっている。

中でも、園芸品目は、農業産出額の4割を占める重要な品目となっております。だいこん、にんじん、ねぎなどの日々の食卓を彩る新鮮な野菜をはじめ、なし、さつまいも、落花生、私の地元富里市で生産が盛んなスイカなど、全国に誇れる品目が数多くある。

高橋議員 園芸産地を強化するため、県はどのように取り組んでいくのか。

農林水産部長 野菜や果樹などの園芸農業は、本県農業産出額の約4割を占める主要な部門であることから、本県農業のさらなる発展には、園芸産地の生産力と販売力の強化が必要です。このため県では、生産力の強化に向けて、規模拡大

や収量・品質の向上に必要な、園芸用ハウス等の生産施設の整備や省力化機械の導入に加え、昨今の夏の高温により様々な品目に影響が出ていることから、自動かん水装置等の導入に対して緊急的に支援を行っています。

また、販売力の強化に向けて、園芸協会や全農ちばと緊密に連携し、流通の効率化に向けたネギなどの出荷規格の見直しや、量販店等と連携した販売促進にも取り組んでいます。

さらに、AI等を活用し

「農福連携」を推進 橋渡し役の人材を育成

たスマート技術の導入や共同利用施設などの再編整備の促進、海外市場など多様なマーケットへ供給できる産地づくりを行いながら、

園芸産地の強化に取り組んでまいります。

育成する研修を今年度から始めたところです。

高橋議員 「農福連携」の取り組みを更に推進していくため、県は今後どのように取り組んでいくのか。

知事 「農福連携」は、農業分野の労働力を確保するとともに、障害のある方が自信や生きがいを持って活躍できる場を創出する取組で

要望 高橋議員 肥料や燃料など農業生産に必要な資材が高止まりしており、生産コスト上昇分に見合った費用面での支援についても、県には生産現場に寄り添った施策を展開いただくよう強く要望する。

要望 高橋議員 専門人材の確保やつながりづくりなど積極的な取組を要望する。

● 県政や富里市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

高橋ゆうこ 県議事務所

〒286-0221 富里市七栄723-2
TEL 0476-33-7252 FAX 0476-33-7253

高橋ゆうこプロフィール

経歴

- 富里市御料生まれ
- 富里南小学校卒業
- 成田高校附属中学校卒業
- 成田高校卒業
- 早稲田大学第一文学部卒業
- 平成23年、27年富里市議会議員(2期)
- 平成31年千葉県議会議員当選
- 令和5年千葉県議会議員当選

現職

- 県議会 農林水産常任委員会委員
- 千葉県環境審議会委員
- 自民党千葉県連副幹事長

子宮頸がんワクチン定期接種

小学校6年生の4月に 全市町村で個別通知を

高橋議員 日本では、毎年約1万人の女性が子宮頸がんにかかり、毎年約3千人が亡くなっている。子宮頸がんはHPVワクチンを接種することで8〜9割予防できるとされている。

保健医療担当部長 子宮頸がんの予防に効果がある

HPVワクチンの定期接種は、小学校6年生から高校

1年生相当までの女子が対象とされており、接種を早期に検討できるよう、接種開始となる小学校6年生に対して個

別通知等で周知を行うことは有効と考えています。令和7年度のHPVワクチンの定期接種については、県内の全市町村が標準的な接種時期である中学校1年生までに個別通知を行って

県としては、個別通知の実施状況等について共有するなど、引き続き、市町村と連携しながら、HPVワクチン接種の促進に努めてまいります。

高橋議員 日本人に多い高濃度乳房では、マンモグラフィでがんの影が見つづらいたことが指摘されている。検診結果とあわせて、乳房の構成を通知すべきと考えるが、県内市町村の状況はどうか。保険医療担当部長 高濃度乳房に関する情報を通知

乳がん 高濃度乳房通知すべき

高橋議員 日本人に多い高濃度乳房では、マンモグラフィでがんの影が見つづらいたことが指摘されている。検診結果とあわせて、乳房の構成を通知すべきと考えるが、県内市町村の状況はどうか。保険医療担当部長 高濃度乳房に関する情報を通知

要望 高橋議員 千葉県全市町村で小6の4月に個別通知していただく

るよう、接種の推進を要望する。また、男性への接種について費用助成を要望する。

しているのは、令和8年2月時点で14市町です。高橋議員 自分の体について知り、必要な行動を選ぶことは検診の目的であり、本当の安心につながると思う。女性の健康支援からも、高濃度乳房について情報の周知を要望する。

高橋ゆうこ県議会レポート

高橋議員 HPVワクチンの定期接種について、小学校6年生4月に個別に通知すべきと考えるがどうか。

高橋議員 HPVワクチンの定期接種について、小学校6年生4月に個別に通知すべきと考えるがどうか。



議場の自席で再質問を行う高橋県議

子どもたちの将来を守る

再質問 高橋議員 HPVワクチンの定期接種対象者の接種率が低下していることが憂慮される。

対象者の接種機会を増やし、疾患を防ぐために、小6で通知することの根拠として、産婦人科の先生はこう話している。

対象者の接種機会を増やし、疾患を防ぐために、小6で通知することの根拠として、産婦人科の先生はこう話している。

「セクシャルデビュー前の接種が効果的である。思春期の中でも、早いうちに接種

するのが副反応、いわゆる多様な症状を減らせる可能性がある。中学生は試験や部活などで多忙で、受診する時間が減る。9価ワクチンなら、15歳未満で初回接種を開始すると、2回の接種で済む。

そして、小学6年生の4月に通知される2種混合ワクチンと同時に通知することで接種率が向上し、同時接種も可能になる。また、こ

うした情報提供に加え、学校等関係機関との連携がとても重要である」

そこで、市町村からの個別通知だけでなく、県教育委員会から県内の小中高等学校長や養護教諭への情報提供を行うことも重要と考えるが、どうか。

養護教諭の研修会などは、様々な場を活用して情報提供に努めてまいります。

高橋議員 策定された「成田空港周辺における道路整備計画」では、私の地元富里市では、酒々井インターチェンジから富里市街地を結ぶ道路の延伸線が「空港へのアクセス道路」として「具体化に向けた調査に着手する」とされている。

この路線は、富里市はもとより、空港西側に位置する地域が長年熱望していた道路であり、今後の進捗に期待を寄せている。

そこで、富里市はもとより、空港西側に位置する地域が長年熱望していた道路であり、今後の進捗に期待を寄せている。

このアクセス道路は、根本名地先の国道296号から県道八日市場佐倉線までを結ぶ約2キロメートルのバイパスであり、現在、市と調整しながら、概略ルートを決定するための検討を進めているところだ。

今後、検討内容のとりまとめを行い、早期に事業化が図れるよう、富里市と

富里市内の空港アクセス道路 概略ルートを検討中

要望 高橋議員 成田空港へのアクセス道路については、富里市と連携し

ながらルート検討を進めていただけていることを確認した。地元が大変期待している路線であり、併せて県道八日市場佐倉線から国際医療福祉大学成田病院までの間についても、富里市及び成田市が連携して道路整備を行うこととして

現在、地元富里市と協議を進めながら、右折レーンの設置に必要となる用地の範囲について検討しているところであり、3月には地形測量に着手する予定です。

要望 高橋議員 引き続き、富里市と連携して、渋滞対策に取り組んでまいります。

引き続き、富里市と連携して、渋滞対策に取り組んでまいります。

引き続き、富里市と連携して、渋滞対策に取り組んでまいります。

要望 高橋議員 引き続き、早期に渋滞対策が図れるよう、事業を推進していただくよう強く要望する。

引き続き、富里市と連携して、渋滞対策に取り組んでまいります。

引き続き、富里市と連携して、渋滞対策に取り組んでまいります。

今後、検討内容のとりまとめを行い、早期に事業化が図れるよう、富里市と

引き続き、富里市と連携して、渋滞対策に取り組んでまいります。

引き続き、富里市と連携して、渋滞対策に取り組んでまいります。

4月1日から

自転車の違反にも青切符

高橋議員 自転車への青切符制度導入後における若年層の自転車利用者に対する交通指導取締り方針はどうか。警察本部長

警察本部長 本年4月1日に導入される青切符制度運用開始後における自転車の交通違反に対しては、違反者の年齢層にかかわらず指導警告を原則としており、悪質な違反、危険な違反でかつ当該違反者が16歳以上の場合には、青切符を適用した取締りを行うほか、飲酒運転等の特に重大な違反に対しては、赤切符等により刑事手続を適用していくこととなります。

また、青切符制度の適用対象外となる16歳未満の違反者に対しては、自転車指導警告書いわゆるイエローカードを交付するなどし、自転車が従うべき基本的なルール等を指導して、再犯の防止を図っていくことを原則としておりますが、このうち14歳以上による悪質な違反に対しては、必要に応じて赤切符等を適用した取締りを実施していくこととしております。